

G8 は腐敗と闘う約束を十分に果たしていない

各国首脳は 2008 年のサミットで進捗状況を説明すべきである、とトランスペアレンシー・インターナショナルの「G8 プログレス・レポート」は述べている。

2008 年 7 月 2 日ベルリン-北海道洞爺湖 G8 サミットを数日後に控え、トランスペアレンシー・インターナショナル(TI)は、今年で 2 回目となる年次の「G8 プログレス・レポート」を発表した。腐敗を減らすための主要なコミットメントを調査しその結果をまとめたこのレポートによれば、G8 のパフォーマンスは期待された水準に達しておらず、G8 が目指す広範な目標および世界的な腐敗防止というアジェンダに対するマイナスの影響さえ懸念される。

海外贈賄、およびそれが競争や開発に与える悪影響を減らすと約束したにもかかわらず、カナダ、日本、イギリスの 3 国は、外国公務員贈賄禁止法が国内で実施されていることを立証していない。イギリスの実施法はいまだに不備が多い。主要輸出国すべてによる精力的な実施がない限り、賄賂は今後も発展を阻害しつづけるであろう。主要輸出国が自国の状況を是正しないまま他国に対してガバナンス強化を要請する場合には、その要請そのものが疑問視されるであろう。

G8 首脳は、国連腐敗防止条約の批准、およびその実施についても約束してきた。すでに 100 以上の国々が批准したこの条約は、腐敗と戦うための効果的で全世界的な枠組みを提供する大きな力になってきている。しかしながら、ドイツ、イタリア、日本はいまだに行動を起こしていない。さらに G8 は、グローバルな実施、司法共助および統一的な法適用を達成するために必要不可欠な効果的なフォローアップメカニズムの構築の支援についても約束している。しかし、そのようなメカニズムに対する強い抵抗がいまだに存在している。G8 諸国は、この問題にも注目すべきである。

エネルギーを確保すること、また、天然資源から得られる利益が市民すべてに行き渡ることを確保することについて懸念が強まる中で、(採取産業透明性イニシアティブ(EITI)の支援などを通じて)腐敗と対峙し、資源経営における透明性を助長することに対する G8 首脳のコミットメントは、とりわけ急を要する。天然資源からの歳入および歳出の透明性は、市民にとって政府がその利用に責任を持つためにも、そしてまた、政府を監視する市民社会の組織の保護のためにも、極めて重要である。EITI はすべての G8 の諸国による支援、および参加に値する。

G8 首脳は、グローバルな金融市場で国際的に最も透明性の高い基準を実施し、犯罪的な悪用から保護するための手段を講じるよう確保するために一定の措置をとることを約束してきた。金融システムが腐敗の目的で悪用されているという多くの証拠がある中、G8 は国境を越えた資本流入へのさらなる透明性を促進する取り組み、ならびに、グローバルな金融システムを通じた不法な資

金移転を阻止、発見するための規制を相互間で調整する取り組みを強化しなければならない。
このレポートの作成に携わったTIのG8各国支部は、G8首脳に対し、来週、日本でサミットが開催される際、過去の公約の実施に関する厳格な自己評価、ならびに将来の進捗を測る基準とタイプテーブルを盛り込んだ報告書を作成し公表するよう要請する。

###

トランスペアレンシー・インターナショナルは腐敗と率先して闘う市民社会組織です。

<予告> トランスペアレンシー・インターナショナルのウェブサイトに G8 の過去の公約および腐敗が貧困の撲滅をどのように阻害しているのか、そして気候変化に関する特集を以下で見ることができます。

http://www.transparency.org/news_room/in_focus/2008/g8

メディアコンタクト:

日本:

Jesse Garcia

jgarcia@transparency.org

ベルリン:

Nadja Kostka

Tel: +49-30-34-38-20-666

Fax: +49-30-34-70-3912

nkostka@transparency.org

G8 諸国および全世界での専門家への連絡先

TI 各国支部:

http://www.transparency.org/contact_us/ti_nc/all